

## 9月議会において代表質問しました

質疑の様子は神戸市会ホームページで録画公開されていますので、ご確認ください。

### 1. 認知症における徘徊・介護ケア対策について

(質問) G7 神戸保健大臣会合で発表された、「認知症にやさしいまちづくり」に向けて本市としても、統一した認知症施策、介護者家族のケア対応が必要ではないか。

(久元市長答弁)

神戸市内各区で先駆的な認知症対策を実施し、これを広げるという手法をとってきた。例えば、東灘区では認知症サポートネットの構築、情報交換や認知症サポーター養成講座を実施している。

長田区では、認知症カフェを開設し、医師、家族会、大学関係者、市民ボランティアと連携をとっている。

しかしながら、認知症対策を個々に対応することは適当でない。

そこで、本年度より認知症徘徊対策としては、高齢者安心登録事業を開始し、認知症カフェについても、こうべオレンジカフェを全市的に開始している。今後も基本的には同じルールで全市的に対策の充実を図っていく。



トピックス1 表面参照

### 2. 行財政改革2015の総括について

(再質問) 本市の財政的には数値が良くなっている一方で、負債が見えにくくなっている。

今年度も外郭団体に対して、反復・継続の貸し付け(オーバーナイト)を184億円行っている。

これらは、市民負担となっているが数値には表れていない。今後、これらの外郭団体等の短期の貸し付けについてはどう考えるのか。また、総務省からも、このような会計操作は解消するよう求めているが。

(鳥居副市長)

新規の短期貸し付けについては、平成26年度以降行っていない。現在の短期貸し付けを行っているものは、早期回収させていただいている。本市は、総務省の第3セクター等の経営健全化に関する指針をふまえ、外郭団体の経営状態の把握・監査・評価を実施している。議会・市民に対しても情報公開をHP等で行っている。

(市長)

オーバーナイトという貸し付け方法は極めて不適切だと思っている。これは、将来負担比率を小さく見せかけようと意図したものではない。29年度は、これを勘案した数字を対外的に公表していく。

しかし、これらを早期解消したいが、一気に解消すると多額の一般会計が必要になるので、ある程度の時間的猶予をいただきたい。

### 3. サステナブル・スマートシティ(持続可能性都市)の構築について

(質問) 事業計画によると、低炭素社会づくりの推進として、市域全体として短期目標として2020年度15%以上削減、再生エネルギー等に関する導入目標をエネルギー消費量の10%以上導入とあります。

また、「水素スマートシティ神戸構想の推進」がありますが、どのように実現していくのか。

(市長)

神戸空港島にオーストラリアで製造した、液化水素の輸入拠点を整備している。これは、世界初の液化水素の長距離大量輸送と技術開発を行うことにしており、現在、川崎重工業、岩谷産業、シェルジャパン、電源開発で構成する技術研究組合が整っている。これが実現すると、純度の高い液化水素が神戸から全国へ供給されることになる。なお、神戸市のエネルギーコストを光熱費で見ると、平成25~27年の平均値は政令市で最も少なく、一世帯あたりの温室効果ガス排出量は横浜、川崎市より少ない。引き続き他都市にも学びながら、水素エネルギー、他の再生エネルギーの活用に取り組んでいきたい。



### 4. 須磨多間線の今後について

(質問) 須磨多間線(西須磨工区)については、今年度4月下旬からの測量を、「住民の理解が十分に得られていない」とのことで市長自ら計画延期を発表したことは正しい決断である。今後は一工夫した住民理解の手法をとるとのことだが、どのような手法を取るのか。

(鳥居副市長)

今年度からは地域の皆さんに、個別の説明を中心に進めてきた。

7~8月にかけて、計5回個別説明会を開催しましたところだが、今回の説明会の工夫は会場を須磨区民センターに加え、事業地の近くということで地元の地域福祉センターで開催した。開催時間帯も、休日、夜間なども設定し、少人数の方にも対応して説明した。また、職員が地域をくまなく回り、住民による小規模な会合にも出席させていただいた。今後も様々な機会を通して、周辺住民の皆様と説明、話し合いを重ね、個別の事情にも配慮してより一層丁寧な対応と誠実な説明に努めて参りたい。

### 5. 教員の多忙化対策について

トピックス3 表面参照

(質問) 平成27年度「教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価」における、成果指標において教員が「多忙感がある」は小学校97.3%、中学校95.9%と昨年度と比較しても減少していない。

いじめ認知件数も、小中学校全体で換算しても昨年比の11倍の増加です。

また、解決困難事例も増えていることから教員の解決能力向上などの多忙化対策の対応について。

(雪村教育長)

それらの生徒指導には苦慮する事例が増加している。

教員には研修や各校の取り組みの情報交換を積極的にすすめ、個人では対応が難しいケースでは校長のリーダーシップのもと、スクールカウンセラー、学校サポートチームの効果的な活用などチーム学校としての学校の組織力強化により、問題の解決力向上を計っていきたいと考える。

また、ICT活用により事務負担の軽減を図っており、教員に対して多忙化に関するアンケートを実施して解消アイデアなどの意見が寄せられているところである。



### 6. 指定管理者の管理運営に対する事業評価について

(質問) 本市では指定管理者制度を導入している計982施設に対して、管理運営評価を5段階で毎年実施している。しかし、指定管理施設には、福祉施設、観光施設、駐車場、図書館などの社会的目的が異なる施設が全部一律に評価されている。今後、この評価制度の課題や見直しはないのか。

※ 指定管理者とは、神戸市の施設を公募などにより特定事業者が管理運営を委託するものです。

(玉田副市長)

評価方法は、指定管理者の事業報告に基づいて各局が内容を確認したうえで、選定評価委員会が総合的に評価をするものとなっている。また各施設より、当初の提案内容がどれくらい達成されているのかなども評価項目に入れており、一定の施設の特徴をふまえた評価を行っている。

各都市の評価基準が違うところもあるので、他都市の例も参考にしながら指定管理施設の設置目的が十分に達成されて、一層のサービス向上がはかれるような評価方法についても引き続き調査勉強していきたい。

#### プロフィール

昭和41年4月8日生まれ(須磨区在住)  
西須磨小学校~鷹取中学校~滝川高校~神戸学院大学法学部卒業  
大学受験予備校(代々木ゼミナール)に23年間勤務  
維新政治塾1期生修了・近畿ブロック維新政治塾修了・法務省保護司  
平成27年4月の統一地方選挙において、7615票を頂き初当選  
福祉環境委員会 所属

発行: 日本維新の会  
神戸市議員団  
〒650-8570  
神戸市中央区加納町6丁目5番1号 1号館29階

TEL:078-322-0185  
FAX:078-322-0184

住本かずのり 検索

facebook

http://www.k-sumi.jp

E-mail: suma@k-sumi.jp

市政相談 受付中

神戸市須磨区支部 TEL:078-735-8231  
FAX:078-735-8231

〒654-0051  
神戸市須磨区月見山本町2丁目6番15号